

5 環境教育・環境学習の推進

5-1 多様な環境教育・環境学習の推進

1 環境教育の推進体制(循環型社会推進課)

(1)環境教育の推進指針

環境教育の目的は、環境問題に関心を持ち、環境に対する人間の責任と役割を理解し、環境保全に参加する態度及び環境問題解決のための能力を育成することにあります。

県民すべての世代にわたる体系的・総合的な環境教育を推進するため、平成2年9月に「環境ふれあい実践活動推進指針策定委員会」を設置し、平成3年3月に「環境ふれあい実践活動推進指針」をとりまとめました。指針では、行政、学校、企業、各種団体等が人の活動と環境容量との調和を図る中で、自主的な実践活動が行えるよう学習の機会、機材、指導者、拠点施設・設備等の各基盤を整備していきます。

(2)環境教育の推進体制

本県では、各部局にわたって様々な環境教育事業を展開しています。その体制と主な実施内容は右表のとおりです。

環境科学研究所	環境教育事業の実施 成・支援	指導者の育成
森林総合研究所	環境教育に関する調査・研究 環境学習資料作成	環境学習資料作成
	環境情報の提供	
教育庁		
義務教育課	地域を育てる環境活動推進事業の実施	
社会教育課	高校生やまなしネイチャー体験事業の実施	
	青少年自然の里の運営	
	八ヶ岳少年自然の家の運営 山梨ことぶき勸学院	
その他の部局		
企画部	環境にやさしい生活に関する普及啓発	
	キャンパスネットやまなし 花のまちづくり運動の推進	
各地域振興局林務環境部	地域における環境保全活動の推進	
土木部	森と湖に親しむつどいの開催	

県の環境教育推進体制(平成17年3月現在)

2 環境教育の各種施策

(1)環境科学研究所における環境教室等(森林環境総務課)

環境科学研究所の環境教育部門では、環境問題を地球規模で考えたり、身近なことから実践することの大切さを学習する「環境教室」、「環境体験講座」、「環境映画会」、「身近な環境調査」、「地球環境観察会」や、「環境写真展」等の企画展示など、広範な環境教育事業を展開しました。

事業名	H16実績	備 考
環境教室	団体を対象として随時開催	
やまなし環境映画会	7/31～8/1, 8/13～16	・優れた環境映画の上映
環境体験講座	4回(各1～2日間)	・体験活動を取り入れながら、身のまわりのものを題材とした内容で開催
身近な環境調査	88校参加 (小・中学校)	・大気の汚れ具合、サクラの開花調査
地域環境観察会	2回	・地域の身近な自然などの観察会
環境科学講座	1回	・科学的なデータや知見を取り入れ、わかりやすい内容で開催
企画展示	4/24～6/27 「植物写真展」	
	7/10～9/12 「動物写真展」	
	9/25～11/21 「きのこ写真展」	

環境教育事業の概要(平成16年度)

(2)体験型環境学習の推進(親子エコスクールほか)(循環型社会推進課)

こどもエコクラブへの支援

ア 目的

次代を担う子供たち(小中学生)が地域において楽しく自発的に環境学習及び環境保全活動を行う「こどもエコクラブ」の活動を支援し、その内容充実を図る。

イ 県内の加入状況(平成17年3月31日現在)

・クラブ数...24

・会員数...419人 (全国:クラブ数...約4,200 会員数...約83,000人)

ウ 事業内容

県内こどもエコクラブ交流キャンプ

こどもエコクラブのメンバーやサポーターが交流を深めるとともに、自然の中で各種の体験を通して、今後の環境保全活動の一層の促進を図る。

平成16年7月31日(土)～8月1日(日) 本栖湖青少年スポーツセンター

参加者 こどもエコクラブメンバー及びサポーター 41名

子どもエコクラブ全国フェスティバル

「子どもエコクラブ全国フェスティバル」大会に県内の「こどもエコクラブ」2クラブが、同フェスティバルに展示する壁新聞を提出した。

(3)学校林活用推進事業(みどり自然課)

学校週5日制の実施や総合的な学習の時間の創設に伴い、森林の教育的利用に対するニーズが高まってきている中で、児童・生徒の森林環境教育の場として学校林を活用するために必要な初期段階での環境整備に対して助成をしています。

平成16年度は、南アルプス市北伊奈ヶ湖周辺の学校林において行われた歩道や看板、ベンチ設置等の整備に対して助成を行いました。

(4)どんぐりクラブ育成事業(みどり自然課)

この事業は、小学生以下の子ども達に、山や森、公園に落ちているどんぐりを拾う活動を通じて、緑に親しみ、森林を大切にすることを育んでもらうことを目的に実施しています。また、集まったどんぐりは環境教育等への活用を図るため、県緑化センターで養成し、希望した小中学校や公園等に配付しています。

平成 16 年度は 900 人の子ども達が会員となり、集めたどんぐりの数に応じてサルスベリとドウダンツツジを配付しました。

(5)活力ある山村づくり(森林整備課)

森林の総合的な利用や都市と山村との交流、森林整備パートナーの育成、子供達等への森林環境教育を通じて、森林・林業に対する理解を深め、森林・山村地域の活性化を推進するために平成 16 年度は以下の事業を実施しました。

森林環境教育活動の条件整備促進事業(「森の子くらぶ受け入れ体制整備事業」)

森林・施設の利用計画の策定、プログラム等の整備、指導者の派遣等、市町村が行う「森の子くらぶ活動推進プロジェクト」の受け入れ体制の整備を支援します。

平成 16 年度は大和村(平成 14 年から継続)が、「甲斐の国 大和自然学校」における森の子くらぶの受け入れ体制を整備するため、活動プログラム作成、セミナー開催、補助教材購入、体験指導者の派遣等を実施しました。

森の子くらぶについて <http://www.rinya.maff.go.jp/kids/park/club.html>

環境保全林再整備事業

県下 26 箇所の環境保全林整備事業実施箇所のうち、人の入り込みが多い箇所において、森林整備を行う企業・団体を募集し、研修会の開催や資機材の配備等の活動支援を通じて、森林整備のパートナーとして育成します。

平成 16 年度は南巨摩郡増穂町の奥仙重生活環境保全林において、生活協同組合市民生協やまなしが、北杜市武川町の精進ヶ滝生活環境保全林において、サントリー株式会社白州蒸留所水工場が除伐等の森林整備を実施しました。

山村コミュニティ活性化モデル事業

若者やUターン者を積極的に受け入れ、集落間の連携強化による定住化促進に向けた魅力ある地域づくり活動や、山村地域に存在する森林資源等を活かした新たな産業の創出による雇用の創出に対する支援をモデル的に実施します。

平成 16 年度は上野原市西原地区において、北都留森林組合が中心となり集落間の連携強化による魅力ある地域づくりのために、企画・検討委員会の開催、資源活用可能性調査等を行い、地域づくりのマスタープランを策定し、また、地域資源を活かした新たな産業の育成のため「森林・林業体験教室」の試行を実施しました。

(6)環境教育推進事業(義務教育課)

小中学校エコ活動推進キャンペーン

(事業概要)

11月を環境教育、環境活動の強化月間とし、全公立小中学校で環境教育、環境活動の見直しや各学校が行っている環境活動の意義を再確認します。また、ホームページを開設し、小中学校の環境教育に役立つ情報を発信したり、互いの活動などを交流したりする場とします。

県の取り組み

- ・各学校に文書を送付し、環境教育、環境活動の見直しや一層の充実を呼びかけます。
- ・小中学校のための環境教育のホームページを開設し、各学校の取組や関連事業の紹介、環境教育の進め方などの情報発信を行います。

各小中学校の取り組み

- ・持続可能な社会をどうつくっていくかという視点から、各学校の環境教育や環境活動の見直しを行うとともに、活動の意義を再確認する。(学級活動、全校集会、学校通信などを活用)
- ・各学校の環境活動を簡単な文章でまとめホームページに載せる。
- ・ホームページを通じ、情報の発信、交流を行う。

(7)高校生やまなしネイチャー体験(社会教育課)

目的

「国際県・山梨」、「環境日本一やまなし」を確立し、未来を拓く教育の一環として、広い視野と豊かな国際感覚を持ち、自然に恵まれた郷土山梨を愛する青少年を育成するために、海外からの留学生と交流し、環境問題を体験的に学ぶことを通して、地域づくりに貢献できる若いリーダーの養成を図る。

経緯

平成6年度より事業を開始し、平成17年度で12年目を迎えた。

平成16年度の実施内容

対象 県内在住の高校生

参加者 74名

実施日 平成16年8月10日～8月13日 3泊4日

学習内容 ・環境学習(自然に親しみ、環境問題を理解するための体験活動を行った。)
 ・国際理解(外国人留学生との交流を行った。)

(8)環境アドバイザーの派遣(循環型社会推進課)

目的

県内の民間団体等が主催する環境保全に関する研修会等に「環境アドバイザー」を派遣することにより、地域における環境保全意識の高揚を図るとともに、地域の環境保全活動に資することを目的としている。

経費等

ア 環境アドバイザー：県内で活躍されている方で環境保全分野の学識経験者や環境保全活動実践者の中から選任・登録

イ 任期：1年

ウ 派遣に要する経費：謝金の一定額及び旅費について県が負担（平成8年度から）

対象

ア 研修会等の主催者：県内の地域活動グループ、町内会、学校、PTA、その他各種団体など

イ 研修会等の内容：自然保護、ごみ減量、環境美化、省資源・省エネルギー、リサイクル、地球環境問題等に関する講演会、研修会、体験学習、観察会など

ウ 参加者数：概ね30名以上（観察会は上限人員あり）

派遣手続き

ア 環境アドバイザーの派遣を希望する団体等は、原則として実施の1ヵ月前までに「環境アドバイザー派遣申請書」を、団体等の所在地を所轄する地域振興局林務環境部長に提出する。

イ 地域振興局林務環境部長は、申請書を審査のうえ、その採否と派遣するアドバイザーを決定し、団体等に通知する。

ウ 団体等は、実施後速やかに「環境アドバイザー派遣事業実施報告書」を地域振興局林務環境部長に提出する。

平成16年度実績

回数	月日	主催団体	テーマ	アドバイザー	参加人数
1	4月21日	環境に関する企業連絡協議会	「山梨の自然環境と開発の現状」	中川 雄三	33
2	5月29日	南アルプス市立小笠原小学校	「環境について考えよう」～地球温暖化について～	芦澤 公子	220
3	5月29日	南アルプス市立小笠原小学校	「環境について考えよう」～川の汚れについて～	望月あけみ	286
4	6月3日	生活協同組合コープやまなし	ごみ問題を考える～リサイクルの現状と3R活動～	藤巻 眞史	30
5	6月18日	田富町立田富小学校PTA	PTA親子クリーンアクション環境学習会	望月あけみ	947
6	6月25日	甲府市立相川小学校	「野鳥の生活を知り、巣箱作り・巣箱掛けに取り組もう」	依田 正直	72
7	6月28日	帝京山梨看護専門学校	ストップ！地球温暖化！今日から始めるエコライフ	芦澤 公子	90
8	3月9日	生活協同組合コープやまなし	地球温暖化問題を考える	向山 邦史	30
9	6月18日	勝沼町老人クラブ	「暮らしの中の年中行事」年始から端午の節句までの行事の意味と心	福島 義明	70

5 環境教育・環境学習の推進

10	6月24日	中道町立北小学校	いつでも、どこでも自然観察	伏見 勝	40
11	7月14日	中道町立北小学校	地球のエネルギー、水 空気の流れ、環境にやさしい車	内田 勝己	40
12	7月13日	石和東小学校	環境学習会	芦澤 公子	300
13	9月16日	勝沼 大和ライオンズクラブ	「地球温暖化防止」	芦澤 公子	35
14	11月9日	牧丘第三小学校PTA	「ふるさと牧丘、大地のきびしさとおおいなるめぐみ」	田中 収	86
15	6月23日	西柱町をきれいにする会	環境講演会「リサイクル事業の現状」	黒田 光秀	90
16	6月21日	大月市立猿橋小学校	環境集会	瀬田 実	107
17	6月21日	大月第一中学校	身近な環境を見つめよう、誰かのために行動しよう	黒田 光秀	24
18	7月3日	大月市立畑倉小学校PTA	環境教育学習会	平井 成子	50
19	2月1日	大月市ごみ減量化推進協議会	「ごみ減量化とリサイクルの推進について」	藤巻 眞史	31
20	7月3日	専門学校「生長の家養心女子学園学生会」	河口湖畔森林観察会「里山の自然観察」	渡辺 通人	30
21	7月23日	韮崎市立甘利児童センター	野鳥や動物についての話を聞こう	大作 栄一郎	40
22	7月23日	韮崎市立韮崎児童センター	自然の中の鳥・その鳴き声や生態、「昆虫の飼育方について」	大作 栄一郎	46
23	9月4日	和泉中学校PTA	地球温暖化に係る自然エネルギー利用について	内田 勝己	50
24	6月26日	下部町文化協会自然愛好会	樹海自然観察会	中川 雄三	29
25	6月29日	南沼町立万沢中学校	環境集会「身近な環境を考える」	黒田 光秀	59
26	12月3日	南沼町立富河小学校	「地域を育てる環境活動」	黒田 光秀	70
27	2月2日	南沼町立富河小学校	「環境教室」身近な衣食住をとおしての暮らしの見直しと環境問題	黒田 光秀	148
					3,053

氏名	役職等	氏名	役職等
植原 彰	(財)日本自然保護協会・自然観察指導員	田中 収	大月短期大学・教授
近藤 信行	作家、日本高山植物保護協会副会長	口野 道男	山梨地学会顧問
山本 紘治	山梨科学アカデミー会員 高校互助会理事長	飯窪さかえ	山梨県生活学校連絡会会長
北村 眞一	山梨大学工学部・教授	中川 雄三	動物写真家、環境省自然公園指導員
平井 成子	全国牛乳パックの再利用を考える連絡会代表	中村 司	山梨大学名誉教授
中込 司郎	山梨県植物研究会会長	依田 正直	日本野鳥の会甲府支部長
横山 宏	恵信甲府病院院長、山梨県医学会理事	葉袋 英輔	(有)ミナイ商店・代表取締役
大作栄一郎	小淵沢町町議会議員、県自然監視員	渡辺 通人	甲州昆虫同好会会長、環境省自然公園指導員
斉藤 一紀	(財)日本鳥類保護連盟専門委員	瀬田 實	甲州昆虫同好会会員
藤巻 真史	(株)田丸・代表取締役社長	山坂 右内	(株)メイキョー技術顧問 山梨科学アカデミー会員
鈴木 嘉彦	山梨大学大学院・教授	芦澤 公子	NPO法人みどりの学校理事長
黒田 光秀	(株)総合リサイクルセンター黒田代表取締役	志沢 美香	NPO法人みどりの学校副理事
伏見 勝	NACS-J 自然観察指導員	向山 邦史	NPO法人みどりの学校理事
鶴田 和彦	横河電機エンジニアリング校正センター長	望月あけみ	NPO法人みどりの学校事務局長
内田 勝己	コープやまなし理事、みどりの学校理事		

山梨県環境アドバイザー名簿(平成17年度)

5-2 人材の育成

1 環境科学研究所の取り組み(森林環境総務課)

山梨環境科学カレッジ・カレッジ大学院の実施

山梨県環境科学研究所では、環境問題や環境教育への理解をより一層深めていただくことを目的に、また、将来的には地域の環境活動を推進していけるような人材を養成する第一歩となるように、環境生涯学習プラン「山梨環境科学カレッジ及びカレッジ大学院」を開講しています。平成16年度の実績は次のとおりです。

(1)山梨環境科学カレッジ

種別	内容	講師	実施日	参加者数
指定講座	1) 開講式・環境科学講座 「地域の景観を考える」	山梨大学大学院教授 北村 眞一 伝匠舎(株)石川工務所 石川 重人	5.15	36

	2) やまなし地球環境映画祭04	(アース・ビジョン組織委員会共催)	7.31~8.1 8.13~8.16	115
	3) 地域環境観察 「富士山麓 野鳥観察の楽しみ」	日本野鳥の会 富士山麓支部 中川雄三 宮下義夫 水越文孝	12.5	36
優先講座	1) 富士山五合目自然観察	東邦大学理学部教授 丸田恵美子	8.8	15
	2) 秋の自然ときのご観察会	森林総合研究所主任研究員 柴田 尚	10.8 荒天中止	0
選択講座	1) 環境体験講座「木工作に挑戦」	都留市宝の里ネイチャーセンター 佐藤 洋 湯原 誠	6.11	17
	2) 環境体験講座「エコ工作に取り組もう」 ～牛乳パックを利用した紙粘土作り		9.23	10
	3) 企画展示～写真展 植物写真・動物写真・きのご写真		4.24~ 11.21	31
計				260人

(2)山梨環境科学カレッジ大学院

種別	内 容	講 師	実施日	参加者数
開講 指定講座	1) 開講式・環境科学講座 「地域の景観を考える」	山梨大学大学院教授 北村 真一 伝匠舎(株)石川工務所 石川 重人	5.15	17
	2) やまなし地球環境映画祭04	(アース・ビジョン組織委員会共催)	7.31~8.1 8.13~8.16	381
	3) 地域環境観察 「富士山麓 野鳥観察の楽しみ」	日本野鳥の会富士山麓支部 中川雄三 宮下義夫 水越文孝	12.5	42
基礎講座	1) 人間と環境・富士山の動植物	本郷研究員・環境教育スタッフ	5.22	17
	2) 自然観察会の手法と運営・富士山の水	環境教育スタッフ	5.29	17
専門講座	1) 富士山麓の自然(自然系)	輿水・中野・北原研究員	6.5	17
	2) 環境と健康(健康系)	永井・大野研究員	6.26	17
	3) 人と自然の関わり方を考える(地域系)	小笠原・杉田・池口研究員	9.18	15
臨地講座	青木ヶ原を訪ねる	環境教育スタッフ	9.3	15
応用講座	1) 自然観察プログラムの実際	富士山五合目自然観察員	7.24	17
	2) 自然観察プログラム作成・模擬実施	環境教育スタッフ	10.30	15
修了式	カレッジ大学院のまとめ	環境教育スタッフ	11.14	15
計				585人

2 森林総合研究所における研修(林業振興課)

林業従事者や後継者、また将来の担い手となる青少年を対象に技術研修を行い、地域林業や森林教育の中核的指導者となるよう人材養成を行っています。平成16年度の実績は次のとおりです。

(1) 専門研修(対象: 県、市町村及び森林組合職員 ほか)

研修教科	内 容	講 師	実施日	日数	参加者数
林業機械	小型車両系建設機械(整地、運搬、積み込み用及び掘削用)	(株)コマツ甲信 小出峰雄	H16.4.27 H16.4.28	2	8
林業機械	伐木造材に係わる特別教育	森林総合研究所 齋藤寛 林業専門技術員	H16.5.31	2	11
林業機械	草刈り機取り扱い	森林総合研究所 齋藤寛 林業専門技術員	H16.5.31	1	13
林業機械	伐木造材に係わる特別教育	森林総合研究所 齋藤寛 林業専門技術員	H16.6.4	1	12
林業機械	草刈り機取り扱い	森林総合研究所 齋藤寛 林業専門技術員	H16.6.24	1	11
林業機械	伐木造材に係わる特別教育	森林総合研究所 齋藤寛 林業専門技術員	H16.6.24	2	7
森林計画	森林施業計画	森林整備課計画担当職員	H16.7.2	1	50
森林教育	森林インストラクター入門	森林インストラクター 植松光正、仲田貴三	H16.7.5	1	12
森林保護	保安林実務	治山林道課保安林担当職員	H16.7.7	1	34
林業機械	はい作業主任者技能講習	労働安全コンサルタント 功刀能文 森林総合研究所職員 齋藤寛 林業専門技術員	H16.7.13 H16.7.14	2	11
林業機械	木造材に係わる特別教育	森林総合研究所 齋藤寛 林業専門技術員	H16.7.23	2	6
森林教育	木工作指導者研修	家具作家 外崎晃 情報館長 土屋光春 森総研 鈴木泰仁	H16.7.26	1	25
森林教育	森林を知ろう(1回目)	齋藤敬文 ネイチャーゲーム協会 能登貞人	H16.7.28	1	35
森林教育	木工作指導者研修	家具作家 外崎晃 情報館長 土屋光春	H16.8.2	1	13

		森総研 鈴木泰仁			
森林教育	森林を知ろう(2回目)	齋藤敬文、ネイチャーゲーム協会 能登貞人	H16.8.18	1	24
林業機械	伐木造材に係わる特別教育	森林総合研究所 齋藤寛 林業専門技術員	H16.8.20	2	2
木材加工	木工の基礎	家具作家 外崎晃	H16.9.22	1	7
林業機械	伐木造材に係わる特別教育	森林総合研究所 齋藤寛 林業専門技術員	H16.9.28	1	2
林業機械	草刈り機取り扱い	森林総合研究所 齋藤寛 林業専門技術員	H16.9.28	1	2
林業機械	機械集材装置運転	森林総合研究所 齋藤寛 林業専門技術員	H16.9.29 9.30	2	2
林業機械	伐木造材に係わる特別教育	森林総合研究所 齋藤寛 林業専門技術員	H16.11.24	1	2
林業機械	高性能機械による間伐材造材・搬出	森林総合研究所 齋藤寛 林業専門技術員	H17.1.17	1	4
林業機械	伐木造材に係わる特別教育	森林総合研究所 齋藤寛 林業専門技術員	H17.1.25	1	3
造林	森林生態と環境影響評価	森林総合研究所 長池卓男研究員	H17.1.25	1	47
造林	移動製炭炉による炭づくり	森林総合研究所 小林茂樹	H17.2.24	2	8
	山梨に於ける森林療法の可能性	兵庫県立大学 上原 巖	H17.2.28	1	94
普及指導	木質バイオマスの可能性	東京農工大学 岩岡正博 東京大学 横山伸也	H17.3.3	1	48
造林	鋸谷式間伐講習会	福井県職員 鋸谷 茂	H17.3.11	1	42
普及指導	国産材時代創出	日本住宅木材技術センター 研究部長 西村勝美	H17.3.18	1	68
計					584

(2)基礎研修(林業教室)(対象:一般県民)

研修教科	内 容	講 師	実施日	参加者数
講演	森林について	森林総合研究所 中田勝彦	H16.5.8	26
作業実習	下刈	森林総合研究所 上野梅男 研修指導幹ほか	H16.6.12	25
視察	赤沢自然休養林	木曽森林管理署	H16.7.10	26
作業実習	高性能林業機械	森林総合研究所 齋藤寛 林業専門技術員ほか	H16.9.11	17

作業実習	間伐・枝打ち	森林総合研究所 田中格 主任林業専門技術員	H16.11.13	17
作業実習	シイタケ植菌	森林総合研究所 柴田尚 主任林業専門技術員ほか	H17.2.14	17
講演	森林ボランティア	オイスカ東京本部組織部参事 田中美津江	H17.3.13	18
計				146

(3)技能者養成研修(対象:林業従事者)

研修教科	講師	実施日	参加者数
小型車両系建設機械(整地、運搬、積み込み用及び掘削用)	(株)前田製作所コマツ甲信事業部 小出峰雄	H16.4.27 H16.4.28	8
林業架線作業主任者免許規定に係わる講習	労働安全コンサルタント 功刀能文 森林総合研究所 齋藤寛 林業専門技術員ほか	H16.6.5 ~ H16.10.26	15
はい作業主任者技能講習	労働安全コンサルタント 功刀能文 森林総合研究所 齋藤寛 林業専門技術員ほか	H16.7.13 7.14	9
林内作業車を使用する集材作業	森林総合研究所 齋藤寛 林業専門技術員ほか	H16.9.21 9.22	10
計			42